

# 平成17年度事業報告書

## 第1 事業概況

### 1. 選手強化育成に関する事業

(1) ナショナルチームの強化合宿を次のとおり実施した。

性別	回数	実施期日	参加者(名)		会場
			スタッフ	選手	
男子	①	平成17年6月6日～6月11日	3	17	三重県鈴鹿市
	2	平成17年7月1日～7月6日	3	11	東京都昭島市
	3	平成17年9月25日～10月1日	3	6	神奈川県・大磯町
	4	平成17年10月10日～10月16日	4	7	マカオ
	5	平成18年3月6日～3月11日	3	16	三重県四日市市
女子	①	平成17年5月24日～5月29日	3	17	広島県福山市
	2	平成17年7月1日～7月6日	3	9	東京都昭島市
	3	平成17年9月25日～10月1日	3	6	神奈川県・大磯町
	4	平成17年10月10日～10月16日	3	7	マカオ
	5	平成18年3月5日～3月10日	3	16	広島県広島市

(注1) 男子・女子ともに第4回の合宿は、第4回東アジア競技大会に向けて大会会場での日本選手団の合宿である。

(注2) 2～4回は、男女合同合宿である。

(注3) ○印は(財)日本オリンピック委員会の委託(2,097,000円)である。

(2) ジュニア選抜強化チーム(ジュニアナショナルチーム)の強化合宿を次のとおり実施した。

性別	回数	実施期日	参加者(名)		会場
			スタッフ	選手	
男子	1	平成17年4月27日～5月2日	3	15	宮城県仙台市
	2	平成18年3月6日～3月11日	3	18	三重県四日市市
女子	1	平成17年9月26日～10月1日	3	18	広島県広島市
	2	平成18年3月7日～3月12日	3	19	広島県広島市

(3) 強化スタッフを次のとおり各種大会に派遣した。

東アジア競技大会予選会	西田 豊明 北本 英幸 渡部 政治 斉藤 広宣
	若梅 明彦 神崎 公宏 中本 裕二 小野寺 剛
	林 三千夫
全日本シングルス選手権大会	北本 英幸 渡部 政治 斉藤 広宣 若梅 明彦
	神崎 公宏 中本 裕二 林 三千夫
ハイスクールジャパンカップ	小野寺 剛
全日本高校選手権大会	中本 裕二
全日本社会人選手権大会	渡部 政治 斉藤 広宣 若梅 明彦
全日本ジュニア選手権大会	小野寺 剛
全日本選手権大会	北本 英幸 渡部 政治 斉藤 広宣 若梅 明彦
	神崎 公宏 中本 裕二 小野寺 剛 林 三千夫

## 2. 指導者養成に関する事業

(1) 平成17年度指導者研修会として、各支部より小学生・中学生・高校生指導者（各1名）が一堂に会し開催した。

・期 日：平成18年2月25日（土）～ 26日（日） 会 場：東京グリーンパレス  
・参加者：日本連盟より事務局員を含め総勢15名 各支部より140名

### 【研修内容】

- 1) あいさつ 本田（生涯スポーツ委員会委員長） 笠井（専務理事）
- 2) 研 修：25日 13：20～ 競技者育成プログラムの説明と質疑応答  
競技者育成マネジメント部会 野 際 照 章 岡 村 勝 幸 林 三千夫  
分科会 16：10～  
小学生指導者：佐藤（理事－小学生担当）  
①会員登録の現状と課題 ②小学生クラブ育成の現状と課題  
中学生指導者：佐々木（理事－中学生担当）間中和男（中体連－評議員）  
①地域連盟との連携・推進について  
高校生指導者：山本（理事－高校生担当）  
①競技者育成プログラムの成功に向けて  
懇親会 19：00～ 21：00  
26日 9：00～ 全体会 意見交換会の発表 質疑・応答  
閉 会 11：40

(2) (財)日体協公認コーチ養成専門科目講習会

- 1) 前 期： 9月10日（土）～11日（日） 千葉県白子町（サニーインむかい）
- 2) 後 期： 12月16日（金）～18日（日） 佼成学園中学・高等学校体育館、他
- 3) 受講者：24名

### 【研修内容の概要】 ①＝前期 ②＝後期

- ・理論：ソフトテニスの現状と課題①（笠井・岡村）  
～競技者育成プログラムの基本理念と展開～  
：ソフトテニスの技術指導理論①（時安）②（榎並）  
：ソフトテニスのバイオメカニクス①（水野）  
：アンチドーピング活動の実際①（福林）②健康対策と安全管理（中島）  
：ソフトテニスのトレーニング理論①（川上）  
：ソフトテニスの心理サポート②（石井）  
：ソフトテニスの栄養サポート②（川野）  
：ソフトテニスの生理学②（山本）  
：ソフトテニスのコーチング②（時安）  
：スポーツ科学から見たソフトテニス②（楠堀）
- ・指導実習：ソフトテニスの実践的技術指導法（榎並・時安）  
：現場における救急処置①（福林）テーピングの実際②（中島）  
：指導計画の作成②（西村）  
：中級者・上級者の応用技術指導法②（時安）
- ・実技：ソフトテニスの実践技術 ベースラインプレーヤー①（榎並・時安）

- : ソフトテニスの実践技術 ネットプレーヤー① (複並) シングルス② (複並)
- : ソフトテニスの実践技術 コンビネーション② (時安)
- : ソフトテニスの実践的コーディネーショントレーニング② (石井)
- : ソフトテニスの審判法② (柳下)

(3) 指導者バンクの立ち上げ

平成18年度より競技者育成プログラムを推進するために、日本連盟として指導者を確保するため各支部よりの推薦を受けて、指導者バンクを立ち上げている。  
 なお、地域における普及活動を支援するための指導者バンクも整備している。

3. 地域グループ育成に関する事業

各支部に対し、会員登録一般の20%、中学生の20%、小学生の50%を還元し、地域クラブ・ジュニアクラブの育成およびジュニア普及等の充実を図った。

また、各支部に対し中学生大会・レディース大会・ソフトテニスの日・指導者バンクの補助を行った。

4. 国内競技会に関する事業

別表1のとおり諸大会を実施した。

(注)別表1(P33~35)の内容参照

5. 地域における競技会に関する補助事業

9地区選手権大会、地区高等学校選抜大会、10地区中学校選手権大会、壮年東西対抗大会、超壮年東西対抗大会、全日本学生同好会大会の開催に対して補助を行った。

6. 公認審判員制度に関する事業

(1) マスターレフェリー94名を認定した。 マスターアンパイヤー38名を認定した。

(2) 公認審判員の認定を次のとおり行った。

(数値：名)

1 級	新 規	8 1
	更 新	2 6 9
2 級	新 規	5, 5 2 9
	更 新	4, 4 2 7
	高 校 生	1 8, 3 4 4
ジュニア		1 6, 0 3 4
計		4 4, 6 8 4

(注)都道府県別認定者掲載数は別表2(P36)に掲載

参考：過去5年間の実績

(数値：名)

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
1 級	328	405	304	410	415
2 級	7,434	8,821	11,845	9,657	10,322
高 校 生	8,548	10,572	10,940	14,533	20,246
ジュニア	7,577	9,060	9,247	11,931	10,787
計	23,887	28,858	32,336	36,351	41,770

(4) 1級審判員の検定会と研修会を、次のとおり実施した。

	実施期日	会場	参加者(名)
検定会	平成18年1月8日～9日	東京体育館	53
	平成18年1月28日～29日	博多の森テニスコート	35
研修会	平成18年1月8日	東京体育館	52
	平成18年1月22日	唐津市文化体育館	17
	平成18年1月22日	春野総合運動公園体育館	12
	平成18年2月5日	仙台市青葉体育館	28
	平成18年2月11日	吉川町総合中央活動センター	24
	平成18年2月12日	燕市体育センター	11
	平成18年2月18日	大府市民体育館	6
	平成18年2月19日	防府スポーツセンター体育館	22

(5) ハンドブックを22,818冊を頒布した。

採点票5,623冊・オーダー用紙1,797部を頒布した。

## 7. 技術等級制度に関する事業

(1) 名誉指導員2名を認定した。

参考：過去5年間の実績

(数値：名)

年 度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
人 数	15	6	6	243	79

(2) 技術等級の認定を次のとおり行った。

(数値：名)

	マスター	EX	S-Ex	SP	S-SP	1級	2級	3級	4級	計
申請	0	104	15	270	9	450	1,081	751	3,108	5,788

(注) 都道府県別認定者数は別表3 (P36) に掲載

参考：過去5年間の実績

(数値：名)

年 度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
人 数	5,543	5,750	5,666	6,130	6,389

## 8. 用具・施設の公認に関する事業

(1) ラケットの証紙445,795枚 ネット証布3,200枚を頒布した。

参考：過去5年間の実績

(数値：枚)

年 度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
ラケット証紙	414,990	518,400	612,100	498,070	493,115
ネット証布	3,300	3,000	3,800	4,200	2,800

(2) 7社48種類のラケットを公認した。

## 9. 広報に関する事業

- (1) 機関誌「ソフトテニス」の発行(毎月1回)  
購読者数 支部購読1,594名 個人購読499名
- (2) 主要大会のテレビ放映  
スポーツ衛星放送チャンネル「ガオラ」のレギュラー番組として、次のとおり放映された。

放映月	大会名
4	2004年ベストセレクション
5	全日本高校選抜大会
6	全日本女子選抜大会
7	全日本シングルス選手権大会
8	全日本大学選抜王座決定戦
9	全日本小学生大会
10	全日本レディース決勝大会
11	国民体育大会
12	東アジア競技大会
1	2004ベストセレクション
2	全日本東京インドア
3	全日本インドア選手権大会

- (3) 第60回全日本選手権大会(厚木市)がNHK教育テレビで、昨年に続き放送された。
- (4) 平成17年度大会記録集を作成し、支部・報道機関等へ配布した。
- (5) インターネットのホームページを継続した。  
アドレス <http://www.jsta.or.jp>  
メール [info@jsta.or.jp](mailto:info@jsta.or.jp)

## 10. 各種表彰の実施

- (1) 平成17年12月4日の評議員会の中で、平成17年度の各種表彰を行い、代表者に賞状・メダル等を授与した。  
表彰の内訳は、次のとおりである。  
支部功労者  
優良団体  
ランキング  
最優秀監督 優秀監督  
最優秀選手 優秀選手  
読売スポーツ賞  
JOC ジュニア・オリンピックカップ最優秀選手  
国際大会 (P17参照)  
その他国際大会入賞者 (P18~19参照)

平成17年度 支部功労者・優良団体推薦一覧

	支部名	功労者	功労者	優良団体
1	北海道	中鉢 博	佐々木 寿	北海道学生ソフトテニス連盟
2	青森	野呂 紘克	松代 哲	サン テニスクラブ
3	岩手	工藤 聰信	中村 正志	岩泉町ソフトテニス協会
4	宮城	藤井 由美子	浅野 忠彦	気仙沼市ソフトテニス協会
5	秋田	柴田 恵吉	若松 大二郎	大館市ジュニアソフトテニス
6	山形	奥山 敏一	門脇 良治	漆山ソフトテニススポーツ少年団
7	福島	松田 庄司	小鍛冶 昇	会津高田クラブ
8	茨城	野口 邦男	畠山 豊光	すぴりっとクラブ
9	栃木	藤沼 宣弘	中村 きぬ	宝木ソフトテニスクラブ
10	群馬	吉田 隆治	上原 素次	館林市ソフトテニススポーツ少年団
11	埼玉	桜井 智明	田中 輝彦	狭山市ソフトテニス連盟
12	千葉	内田 昭久	石川 雅利	千葉県ソフトテニスシニア連盟
13	東京	永井 博典	濱本 陽	八王子市役所
14	神奈川	井 正一	渡辺 邦夫	逗子クラブ
15	山梨	宮下 明也	斉藤 勝巳	笛吹市立石和中学校ソフトテニス部
16	新潟	八子 建悟	富田 安保	三条ソフトテニス連盟
17	長野	岩崎 直章	永井 久史	該当なし
18	富山	漆間 徳治	長田 裕	富山大学
19	石川	架間 義基	中澤 賢	野々市町ソフトテニス協会
20	福井	西出 健一	中村 とし子	武生第二中学校
21	静岡	小関 忠義	石川 雅之	巴クラブ
22	愛知	内藤 喜和夫	柴田 亮介	王子製紙株式会社
23	三重	山崎 徹也	中村 聖一	菟野ソフトテニスクラブ
24	岐阜	早川 寿郎	矢橋 善次郎	岐阜市ソフトテニス連盟
25	滋賀	多居 睦夫	該当なし	該当なし
26	京都	松井 繁	増木 博一	京都市ソフトテニス連盟
27	大阪	宗平 助二	田丸 明	南大阪ソフトテニスクラブ
28	兵庫	岡田 好史	中野 雅文	兵庫県立大学ソフトテニス部
29	奈良	岸下 京子	仲村 進	TSTクラブ
30	和歌山	榎本 安利	藤井 栄一	日高ジュニアソフトテニス教室
31	鳥取	福田 寛巳	竜子 寛治	錦クラブ
32	島根	吉村 憲治	永瀬 喜江子	松江ジュニアソフトテニススクール
33	岡山	吉田 敏彦	橋本 恭司	吉備国際大学
34	広島	中本 裕二	瀬尾 誠	広友会
35	山口	中元 正	山本 十一	防府市役所ソフトテニス部
36	徳島	西木 宏	安西 政和	徳島県立徳島工業高等学校
37	香川	植田 弘	該当なし	NTTドコモ四国ソフトテニス部
38	愛媛	小西 良平	椎名 顕子	愛媛にぎたつクラブ
39	高知	田辺 重正	野島 真二郎	須崎ジュニアソフトテニスクラブ
40	福岡	古殿 豊吉	前原 忠徳	北九州クラブ
41	佐賀	該当なし	該当なし	該当なし
42	長崎	田中 正之	中島 哲弥	該当なし
43	熊本	川井 満	吉岡 伸次	玉名市立天水中学校
44	大分	吉竹 悟	該当なし	該当なし
45	宮崎	肥後 欣子	當瀬 純一	該当なし
46	鹿児島	深田 ミツ子	森 實延	鹿屋NTTソフトテニスクラブ
47	沖縄	友利 稲子	金城 順一	糸満市ソフトテニスクラブ

## 11 . 国際競技大会への代表選手団等の派遣

### (1) 第4回東アジア競技大会

マカオに於いて平成17年10月29日～11月2日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

#### ア. 選手団

団長	西田豊明	(強化委員長)
総務	長岡敏久	(長岡倶楽部)
技術スタッフ	水野哲也	(東京医科歯科大学)
	工藤敏巳	(宮城学院女子大学)
男子監督	北本英幸	(小松市立高等学校教諭)
コーチ	斉藤広宣	(松戸市役所)
トレーナー	川上晃司	(スポーツインテリジェンス)
選手	中堀成生	(NTT西日本広島)
	高川経生	(NTT西日本広島)
	浅川陽介	(文徳高等学校教諭)
	小峯秋二	(富山県西部体育センター)
	菅野創世	(明治大学)
	篠原秀典	(日本体育大学)
女子監督	渡部政治	(広島女子商学園高等学校長)
コーチ	若梅明彦	(九十九里高等学校教諭)
トレーナー	宮下智世子	(野村病院)
選手	玉泉春美	(東芝姫路)
	上嶋亜友美	(東芝姫路)
	渡邊梨恵	(NTT西日本広島)
	堀越敦子	(NTT西日本広島)
	河野加奈子	(ナガセケンコー)
	濱中洋美	(広島女子商学園高等学校職員)

#### イ. 参加国 日本、韓国、中華台北、中国、モンゴル

#### ウ. 成績

##### 金メダル 女子団体

(玉泉春美・上嶋亜友美・河野加奈子・濱中洋美・渡邊梨恵・堀越敦子)

女子ダブルス 玉泉春美 ・ 上嶋亜友美 ペア

女子シングルス 玉泉春美

##### 銀メダル 男子団体

(中堀成生・高川経生・浅川陽介・小峯秋二・菅野創世・篠原秀典)

銅メダル 男子ダブルス 中堀成生 ・ 高川経生 ペア

男子シングルス 菅野創世

女子ダブルス 河野加奈子 ・ 濱中洋美 ペア

女子シングルス 河野加奈子

(2) 第13回日・韓・中ジュニア交流競技会

日本・札幌市に於いて、8月23日～29日まで行われた標記大会に次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

団長 星野 博 (東京都ソフトテニス連盟)  
男子監督 小野寺 剛 (巣鴨学園高等学校教諭)  
女子監督 中本 裕二 (NTT西日本広島)  
視察員 笛岡 宣明 (豊丘高等学校教諭)  
男子選手 上嶋 俊介 (岡山理科大学附属高等学校) 長江 光一 (岡山理科大学附属高等学校)  
鹿島 鉄平 (都城泉ヶ丘高等学校) 森田 祐哉 (東北高等学校)  
池田 峻 (呉宮原高等学校) 井口 雄一 (尽誠学園高等学校)  
女子選手 杉本 瞳 (就実高等学校) 大庭 彩加 (就実高等学校)  
中川 静香 (和歌山信愛女子短期大学附属高等学校) 別宮 美郷 (尽誠学園高等学校)  
佐々木 舞 (札幌龍谷学園高等学校) 田中ちひろ (広島女子商学園高等学校)

イ. 参加国 日本、韓国、中国

ウ. 成績 男女とも優勝

(3) 第4回チャイニーズカップ国際ソフトテニス大会

中国・天津市に於いて、8月3日～6日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

団長 武 鐘 守 (NTT西日本広島)  
男子選手 高川 経 生 (NTT西日本広島)  
花田 直 弥 (京都市役所)  
香川 大 輔 (厚木市役所)  
室谷 哲 也 (岡山市役所)  
女子選手 宗久 容子 (NTTドコモ四国)  
山崎 香 織 (東芝姫路)  
東田 早 代 (東芝姫路)  
上原 絵 里 (ナガセケンコー)

イ. 参加国 日本、中国、韓国

ウ. 成績 ミックスダブルス 優勝 上原 絵 里・高川 経 生 ペア  
2 位 花田 直 弥・宗久 容子 ペア  
男子ダブルス 2 位 花田 直 弥・高川 経 生 ペア  
3 位 室谷 哲 也・香川 大 輔 ペア  
女子ダブルス 2 位 上原 絵 里・宗久 容子 ペア  
3 位 東田 早 代・山崎 香 織 ペア  
男子シングルス 2 位 香川 大 輔  
女子シングルス 3 位 上原 絵 里



(4) 第1回ハンガリー国際ソフトテニス大会

ハンガリー・ブタペストに於いて、8月17日～23日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

男子選手 浅川陽介 (文徳高校教諭)  
小峯秋二 (富山県西部体育センター)  
室谷哲也 (岡山市役所)  
小林幸司 (日本体育大学)  
女子選手 河野加奈子 (ナガセケンコー)  
緒方優紀 (ヨネックス)

イ. 参加国 日本、韓国、ハンガリー、チェコ、カナダ

ウ. 成績	ミックスダブルス	優勝	河野加奈子・小峯秋二	ペア
		2位	浅川陽介・緒方優紀	ペア
	男子ダブルス	2位	浅川陽介・小峯秋二	ペア
		3位	室谷哲也・小林幸司	ペア
	女子ダブルス	優勝	河野加奈子・緒方優紀	ペア
	男子シングルス	2位	小峯秋二	
		3位	浅川陽介、室谷哲也	
	女子シングルス	優勝	河野加奈子	

(5) 第3回中山杯国際ソフトテニス大会 (中華台北・台中)

中華台北・台中に於いて、3月15日～20日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

団長 北本英幸 (小松市立高等学校)  
男子選手 花田直弥 (京都市役所)  
川村達郎 (岡山市役所)  
女子選手 宗久容子 (NTTドコモ四国)  
高橋美香 (NTTドコモ四国)

イ. 参加国 日本、中華台北、韓国、タイ、アメリカ

ウ. 成績	男子ダブルス	優勝	花田直弥・川村達郎	ペア
	女子ダブルス	優勝	高橋美香・宗久容子	ペア
	男子シングルス	優勝	花田直弥	
	女子シングルス	優勝	高橋美香	
		2位	宗久容子	

## 1 2. 国際普及の促進に関する事業

### (1) 海外長期滞在指導者の派遣

海外滞在中の松本雅男氏（カナダ・トロント市滞在）、武井紀明氏（インドネシア・バンコク市滞在）および玉木進氏（ハンガリー・ブタペスト市滞在）を継続派遣した。

### (2) イタリア・ローマへのジュニア派遣

5月14日から21日まで従来からの継続で東京・瑞穂中の鈴木一利先生を引率者にコーチ1名、選手男女各2名計6名をイタリア・ローマに派遣した。（原則自己負担）ローマでは生徒たちはホームステイしながら近郊のキャッスル・ガンドルホを中心に現地の生徒たちとの交流およびソフトテニスの指導交流を行った。

### (3) ヨーロッパへ指導者と選手を派遣

ハンガリー・ブタペスト市で開催された第1回ハンガリー国際大会にあわせて、サンライフの古賀俊彦監督と古賀隆宏氏、選手4名を8月23日から25日までドイツ・フランクフルト市での普及活動に派遣した。（原則自己負担）

また、ベルギー駐在のトヨタ自動車の元監督である谷山義寛氏には、大会期間中の8月20日にオランダに飛び、アムステルダム市で精力的な普及活動を行った。

両者の普及活動は、各国との調整役を担っていただいたナガセケンコーの田辺 理氏やハンガリー駐在の玉木 進氏のご協力によるものである。

### (4) ヨーロッパジュニア大会へのジュニアチーム派遣

ハンガリー・ブタペスト市で開催された国際ジュニア大会に昨年に引き続き東京・文大杉並中・高校野口英一先生を引率者に板橋区立向原中男子選手2名、文大・杉並高校の女子選手2名を8月25日から31日まで派遣した。（原則自己負担）大会はハンガリーと日本のほかチェコが参加して行われ、日本チームは優れた成績を上げるとともに各国ジュニア選手との交流を深めた。

### (5) ドミニカ共和国等中米への指導者および親善交流チーム派遣

北海道の佐々木寿氏、後藤則応氏を中心とする指導者6名、選手4名の計10名を昨年に続き、ドミニカ共和国はじめ中米諸国に普及指導、親善交流のため派遣した。（原則自己負担）一行は2班に分かれ第1班は普及指導のため2月23日から3月14日まで、メキシコ、コスタリカ、パナマ、ドミニカ（共）で普及指導会を行い、第2班は3月4日から14日までドミニカ（共）、プエルトリコで指導、親善交流を行った。ドミニカ（共）、コスタリカ、プエルトリコは以前からの普及国であるが、メキシコ、パナマは初めての交流であり、今後の普及が期待される。

(6) キューバ共和国に普及指導者を派遣

キューバ共和国日本大使館の協力でキューバ（共）へ初めての普及活動が実現し、中南米ソフトテニスの育成に実績豊富な橋本貞夫氏を3月2日から8日まで派遣した。訪問中は主にソフトテニスの紹介と指導者のための実技を含むセミナーが行われた。キューバ（共）は社会主義国であり、スポーツも国の管理下で行われるが、今回の訪問により、国が公認する38番目のスポーツとして認知された。今後の普及が期待される。

(7) タイランド・ナショナルユースゲームソフトテニス競技への視察派遣

タイランド連盟カムトーン会長の要請により、タイランド・ランパーン市で行われたナショナルユースゲームソフトテニス競技に3月24日から28日まで西村副会長を派遣した。この大会は日本の高校総体（中学生を含む）のようなもので、ソフトテニスは27競技の一つとして昨年度から実施されており、全国から予選で選ばれた約180名の選手が参加した。

(8) マカオ・チャイナソフトテニス選手来日

第4回東アジア競技大会では開催地マカオから選手の参加が無かったが、大会時、日本選手団が大変お世話になったマカオ在住の松崎早苗氏が是非マカオでソフトテニスを普及させたいとのことから、3月29日から大学院生2名を日本に派遣し千葉県・白子町で開催中の、日体大桜友会研修会に参加、約800名の中学生・高校生・大学生と練習やミーティングを行った。4月2日（日）に東京体育館で開催された全日本女子選抜大会を見学し、4月3日に同じく東京体育館で開催された東京都国公立大会参加の高校生との親善試合も行った。

(9) 用具・用品の支援

ボール397ダース（19の国と地域）、ラケット462本（19の国と地域）の支援を行った  
《ボール》タイ、チェコ、イタリア、モンゴル、ベルギー、中国、アメリカ、カナダ、ドイツ、  
オランダ、ドミニカ（共）、キューバ、インドネシア、メキシコ、コスタリカ、パナマ、  
インド、マカオ、ネパール

《ラケット》タイ、チェコ、イタリア、モンゴル、ベルギー、中国、アメリカ、カナダ、ドイツ、  
オランダ、ドミニカ（共）、インドネシア、メキシコ、コスタリカ、パナマ、中国（上海）、  
インド、マカオ、ネパール

### 13. 国際大会の開催促進に関する事業

#### (1) 第13回日・韓・中ジュニア交流競技会北海道大会

アジア近隣諸国との青少年スポーツ交流の促進と競技力向上を目的に日本・韓国・中国の3か国に北海道代表を加えた高校生が8月23日～29日まで、北海道・野幌総合運動公園にて開催され、団長・星野博（国際委員長）、男子監督・小野寺剛（全日本ジュニア男子コーチ）、女子監督・中本裕二（全日本ジュニア女子監督）以下男子6名・女子6名計12名（ジュニアナショナルチーム）の選手が参加し男女共日本代表が全勝で優勝した。

将来のナショナルチームメンバーを担うメンバーでの参加は意義があり、神崎公宏男子ジュニアナショナル監督や、林三千夫女子ジュニアナショナルコーチはじめ全国高体連からも事務局野村幸一先生・常任委員井上創先生も視察に駆けつけて日本代表の活躍を応援された。

#### (2) 第4回東アジア競技大会

マカオ・チャイナで開催された第4回東アジア競技大会で、日本は女子が団体・個人ダブルス・個人シングルの全種別を制覇、中でも玉泉春美選手は3冠を達成した。

男子は残念ながら、中華台北に3冠を奪われ、韓国は男女とも無冠に終わりを閉じた。

日本からは競技運営と審判に12名の役員を派遣し、連盟組織の無いマカオで、組織委員会との連携のもと、大会の成功に協力した。ドーハで開催されるアジア競技大会も、カタールにソフトテニス連盟が無く、DAGOC（ドーハアジア競技大会組織委員会）と、カタールテニス協会の協力により同じような大会運営や派遣審判の協力が必要である。

#### (3) マカオ・チャイナソフトテニス選手来日

第4回東アジア競技大会で開催地マカオから選手の参加が無く、大会時、日本選手団が大変お世話になった、マカオ在住の松崎早苗氏が是非マカオでソフトテニスを普及させたいとのことから、3月29日から大学院生2名を日本に派遣、千葉県・白子町で開催された、日体大桜友会研修会に参加、約800名の中学生・高校生・大学生と練習やミーティングに参加した。4月2日（日）に東京体育館で開催された全日本女子選抜大会を見学し、4月3日に同じく東京体育館で開催された、東京都国公立大会参加の高校生との親善試合も行った。

## 第2 庶務事項

### 1. 評議員会に関する事項

#### (1) 書面審議による評議員会

- ア 期日 平成17年6月24日(金)  
イ 審議事項 ①平成16年度事業報告について  
②平成16年度収支決算報告について  
③平成17年度第1次補正予算について

#### (2) 平成17年度評議員会

- ア 期日 平成17年12月4日(日)  
イ 会場 全共連ビル別館1階「コンベンションホール」  
ウ 審議事項  
① 平成18年度事業計画(案)・予算(案)について  
・ 新規大会要項について  
・ 大会要項変更について  
② 寄附行為の改訂について  
③ 役員選出内規の改訂について  
④ 平成18年度評議員会日程について  
⑤ 報告事項  
(ア)理事会報告について  
(イ)ジュニア審判マニュアル等について  
(ウ)東和織物の砂入り人工芝の商品名変更について  
(エ)ナショナルチーム・ジュニアナショナルチームについて  
⑥ 支部提案について  
⑦ その他  
・ 第31回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会要項  
・ 第51回全日本インドアソフトテニス選手権大会案内

### 2. 理事会に関する事項

#### (1) 第1回理事会

- ア 期日 平成17年6月4日(土)  
イ 会場 全日本中学校長会館  
ウ 審議事項  
① 平成16年度事業報告並びに収支決算報告について  
② 平成17年度第1次補正予算について  
③ ソフトテニス用具・用品(ラケット)の公認申請について  
④ 個人情報保護方針、個人情報保護規程について  
⑤ 施設造成業者の公認契約解除届について  
⑥ 日本マスターズについて  
⑦ 平成18年度主催大会の基本日程について  
⑧ 東アジア競技大会日本代表選手および派遣役員の決定について  
⑨ その他

#### (2) 第2回理事会

- ア 期日 平成17年9月24日(土)  
イ 会場 厚木市南毛利公民館  
ウ 審議事項  
① 平成18年度事業計画及び予算編成方針について  
② ラケットの公認申請について  
③ 会員登録状況について

- ④ 日本マスターズについて
- ⑤ 長期基本方針の策定について
- ⑥ 大会基本日程について
- ⑦ 大会要項（全国小学生大会）変更について
- ⑧ 平成17年度1級審判員検定会・研修会について
- ⑨ 特別委員会の設置（競技者育成プログラム推進委員会）について
- ⑩ 寄附行為の変更について（アマチュア規定制定の文言変更）
- ⑪ シューズの色合い（ユニフォーム着用基準）について
- ⑫ 公認メーカーのブランド名表示について

(3) 第3回理事会

ア 期 日 平成17年11月26日(土)

イ 会 場 全共連ビル「101会議室」

ウ 審議事項

- ① 平成18年度事業計画(案)および収支予算(案)について
- ② 寄附行為の改訂について
- ③ 専門委員会規則および同職務の改訂について
- ④ ソフトテニス用具業者公認申請について
- ⑤ 読売スポーツ賞候補者推薦について
- ⑥ 平成18年度評議員会日程について
- ⑦ ジュニア審判マニュアル等について
- ⑧ 新規大会要項について
- ⑨ 全日本インドア選手権大会出場予定選手について
- ⑩ 役員選出内規（地区選出理事）について
- ⑪ 国際振興検討プロジェクトについて
- ⑫ 国際大会入賞者表彰基準の改訂について

(4) 第4回理事会

ア 期 日 平成17年12月3日(土)

イ 会 場 全共連ビル「101会議室」

ウ 審議事項

- ① 平成17年度支部功労者及び優良団体について
- ② ソフトテニス用具業者公認申請について
- ③ ソフトテニス用具（ラケット）公認申請について
- ④ 平成18年度理事会日程について
- ⑤ 平成17年度支部提案事項について

(5) 書面審議による理事会

① ラケット公認について

ア. 期 日 平成18年1月27日

② 公認業者及びラケット公認について

ア. 期 日 平成18年2月24日

③ ラケット公認について

ア. 期 日 平成18年3月3日

## (4) 平成17～18年度 専門委員会(☆は部会長)

専門委員会名	委員名
総務委員会	委員長：和歌浦 信雄
	星野 博 佐藤 正矩 武鑑 守 柳下 秋久 佐々木 稔 出石 稔
	☆佐々木 悟 今井 史郎 川島 登 中田 正雄 北 正三 金子 知行 大西 由佳
会員登録部会	
審判委員会	委員長：小原 信幸
	柳下 秋久 上田 喜博 今井 史郎 北村 和久 林田 正信 出石 稔 荒木 稜夫 丹崎 健一 田中 敏雄 蒲原 英敏 上山 親子 荒畑 鈴佳
競技委員会	委員長：藤原 伸二
	齊藤 元三 宮下 恭子 上田 喜博 長岡 敏久 土崎 朋典 笛岡 宣明
	☆長岡 敏久 齊藤 元三 上田 喜博 佐藤 健司 石川 雅利 木谷 順三 小笠原浩二 中野 吉広 山口 眞護 渡部 秀二 土崎 朋典 池田 光雄 木所 一典 小俣 三男 大川 京子 高川恵美子
用具・施設部会	☆齊藤 元三 武鑑 守 姫野 嘉孝 小原 信幸
強化委員会	委員長：西田 豊明
	武鑑 守 石井 源信 福林 徹 時安 繁 金治 義昭 北本 英幸 神崎 公宏 齊藤 広宣 渡部 政治 若梅 明彦
	☆武鑑 守 神崎 公宏 中本 裕二 小野寺 剛 林 三千夫 岡村 勝幸
ジュニア強化部会	
医科学部会	☆福林 徹 石井 源信 水野 哲也 山本 裕二 工藤 敏巳 平田 悦造 楠堀 誠司 井田 博史
指導委員会	委員長：石井 源信
	西田 豊明 齊藤 元三 渡部 政治 北本 英幸 小野寺 剛 井田 博史 神崎 公宏 榎並 紳吉 岡村 勝幸
	☆齊藤 元三 今井 史郎 荒木 稜夫
等級制度部会	
生涯スポーツ委員会	委員長：本田 茂雄
小学生普及部会	佐藤 正矩 宮下 恭子 姫野 嘉孝 正城與四次 北山 敏隆 佐々木 悟 間宮 栄二 篠埜 護 野際 照章 井上 創 西川 尚子
	☆佐藤 正矩 渡辺 武夫 松口 康彦 芝地 康幸 石川 雅利 金岡 昭房 國枝 俊子
	☆宮下 恭子 姫野 嘉孝 正城與四次 大西 貞夫 時任 宥幸 田中 敏彦 横野久美子 保倉 謙治 原田 公夫 大川 京子
シニア部会	

(4) 平成17年～18年度 専門委員会(☆は部会長)

専門委員会名	委員名
国際委員会	委員長：星野 博
	西田 豊明 内藤 享佑 内藤 尚男 橋本 茂樹
	神鳥 泰次 長岡 敏久 丹崎 健一 山口 正紀
	福崎 穰司 蒲原 英敏 小野 政昭 佐伯 善春
広報委員会	委員長：武鐘 守
	星野 博 柳下 秋久 工藤 敏巳 中山 俊介
	萩原 廣一 大高 宏元 小野寺 剛
機関誌編集部	☆柳下 秋久 田中 美明
I T 部会	☆工藤 敏巳 小澤 浩 大野 勝敏 土崎 朋典
	内原 繁 北 正三

《特別委員会》

競技者資格委員会	委員長：笠井 達夫
	和歌浦 信雄 藤原 伸二 小原 信幸 宮下 恭子 佐々木 悟 山本 照夫 北山 敏隆
ドーピング 判定委員会	☆笠井 達夫 福林 徹 大西 祥平 柳澤 尚武 藤原 伸二
ドーピング コントロール委員会	☆福林 徹 平田 悦造 永井 博典 児島 瑞夫 大西 祥平 水野 哲也
倫理委員会	委員長：林 敏弘
	笠井 達夫 表 孟宏 西村 信寛 和歌浦 信雄 藤原 伸二 宮下 恭子
競技者育成プログラム 推進委員会	委員長：笠井 達夫
	西田 豊明 石井 源信 武鐘 守 北山 敏隆 山本 照夫 佐々木 悟 佐藤 正矩
	☆西田 豊明 北本 英幸 渡辺 政治 神崎 公宏 中本 裕二 小野寺 剛 林 三千夫
	☆石井 源信 岡村 勝幸 林 三千夫 小野寺 剛 榎並 紳吉
	☆武鐘 守 野際 照章 岡村 勝幸 林 三千夫 小野寺 剛 重平 静洋 井上 創 野口 英一

(5) 事務局職員 平成17～18年度

事務局長	瀬戸 幹男 平成13年4月1日～	職員	西村 眞澄	平成13年11月1日～
			竹田 稔	平成10年4月1日～
			荒木 朋子	平成3年5月1日～
			大八木洋子	平成13年4月1日～
			山浦 和博	平成16年5月1日～



4. 理事・監事・評議員・専門委員・職員に関する事項

(1) 平成17～18年度 理事 23名

役職	氏名	選出母体	役職	氏名	選出母体
会長	海部 俊樹	学識経験者	理事	武 鐘 守	中 国
副会長	林 敏弘			上田 喜博	四 国
副会長	表 孟宏			姫野 嘉孝	九 州
副会長	西村 信寛			北山 敏隆	学 連
専務理事	笠井 達夫	会長推薦		山本 照夫	高体連
理事	佐藤 正矩	北海道		佐々木 悟	中体連
	本田 茂雄	東北		小原 信幸	会長推薦
	藤原 伸二	関東		西田 豊明	
	星野 博	東京		宮下 恭子	
	和歌浦 信雄	北信越		石井 源信	
	斉藤 元三	東海		柳下 秋久	
	正城 與四次	近畿			

(2) 平成17～18年度 監事 3名

氏名	支部	氏名	支部	氏名	支部
北村 和久	三重	安田 直之	群馬	大西 貞夫	大阪

(3) 平成17～18年度 評議員 50名

氏名	支部	氏名	支部	氏名	支部
富 檉 康夫	北海道	高 倉 正和	富山	斎 藤 眞久	山口
新 保 俊彦	青森	井 上 清一	石川	馬 詰 悟	徳島
菊 池 栄光	岩手	川 畑 茂	福井	松 浦 充	香川
松 田 孝志	宮城	落 合 敏男	静岡	小 村 丈夫	愛媛
萬 正 一	秋田	横 野 久美子	愛知	横 江 忠志	高知
山 田 耕司	山形	内 田 政和	三重	鶴 崎 剛	福岡
川 島 登	福島	市 原 茂徳	岐阜	江 頭 武典	佐賀
飯 村 政次	茨城	福 地 茂	滋賀	馬 場 信幸	長崎
田 村 哲二	栃木	山 本 毅	京都	吉 田 博紀	熊本
鈴 木 正彦	群馬	阿 部 宗一	大阪	片 野 秀樹	大分
井 下 洪平	埼玉	森 崎 俊夫	兵庫	寺 園 圀順	宮崎
石 川 雅利	千葉	高 倉 直樹	奈良	川 端 城	鹿児島
今 井 史郎	東京	筒 井 満	和歌山	仲 間 正弘	沖縄
野 田 寛	神奈川	安 東 健司	鳥取	西 川 尚子	日本学連
向 山 淳	山梨	森 脇 孝吉	島根	原 田 誠一郎	高体連
八 子 建悟	新潟	重 平 静洋	岡山	間 中 和男	中体連
宮 沢 幸男	長野	神 鳥 泰次	広島		

5. 会員登録制度の実施に関する事項

次のとおり会員が登録した。

(数値：名)

種別	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	一般	合計
平成17年度	18,084	213,181	96,335	344	7,266	52,422	387,632
平成16年度	19,410	369,672	94,305	115	7,153	49,616	540,271
平成15年度	16,739	370,521	90,116	216	6,654	49,417	533,663
平成14年度	16,654	370,570	87,409	247	6,255	49,083	530,218
平成13年度	11,448	350,556	83,864		6,299	48,683	500,850

(注)都道府県別会員数は別表4(P38)に掲載

6. 分担金に関する事項

(1) 支部分担金

一律 150,000円 × 50支部 7,500,000円

(2) 会員登録料

種別	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	一般	合計
金額	9,042,000	106,590,500	48,167,500	172,000	3,633,000	52,422,000	220,027,000

(3) 維持会費

ア. 公認メーカー

(単位：千円)

用具・用品	金額	公認メーカー
ガット 5社	3,300	ゴーセン・東亜ストリング・ヨネックス・SRIスポーツ・ミズノ
ネット 9社	900	鐘屋産業・アシックス・松本製網・寺西喜商店・ミセキネット 昭和ゴム・高須賀・テイエスネット・鶴沢ネット
ラケット10社	1,000	カワサキ・ミズノ・昭和ゴム・ヨネックス・ゴーセン ヒロウン・SRIスポーツ・ダイワ精工・タケマエ・ジャパーナ
ユニフォーム 10社	11,600	カワサキ・ミズノ・昭和ゴム・ヨネックス・ゴーセン・ゴールドウィン アシックス・ナイキジャパン・SRIスポーツ・アディダスジャパン
シューズ10社	4,800	アシックス・ヨネックス・ナイキジャパン・ゴーセン・アディダスジャパン SRIスポーツ・ミズノ・ディアドラジャパン・ダイワ精工・ブリヂストン
ボール 2社	5,520	昭和ゴム・ナガセケンコー
計	27,120	

イ. 施設業者

(単位：千円)

	金額	社名
施設業者 2社	1,000	NIPPO コーポレーション 奥アンツーカ
砂入人工芝 製造業者 5社	2,500	SRI ハイブリッド・積水樹脂・大塚家具製造販売(株) ・東和織物・エスディーテック(ダイヤテックス)
計	3,500	

ウ. 一般

(単位：千円)

50	内田昌一	京都	西村信寛	東京	稲門クラブ	東京	三田倶楽部	東京
30	表孟宏	兵庫	藤原伸二	千葉	北山敏隆	京都	石井源信	神奈川
	姫野嘉孝	大分	北村和久	三重	大西貞夫	大阪	柳下秋久	東京
	宮下恭子	大阪	ヨネックス		昭和ゴム		ミズノ	
	ゴーゼン		上田喜博	徳島	本田茂雄	宮城	星野博	東京
	山本照夫	宮城	佐藤正矩	北海道	笠井達夫	神奈川	小原信幸	岡山
	斉藤元三	愛知	武鑑守	広島	安田直之	群馬	和歌浦信雄	新潟
	正城与四次	兵庫	佐々木悟	東京	西田豊明	神奈川		
20	松井松市	大阪	笛岡宣明	愛知				
10	林岩雄	栃木	松本忠宣	宮城	中屋卯三郎	岐阜	倉田裕司	大阪
	斎藤孝弘	埼玉	奥田忠雄	岐阜	高松政男	栃木	林幸夫	福島
	村上照五郎	岩手	内藤享佑	神奈川	松田信穂	千葉	原田公夫	鳥取
	福田久恵	大阪	長岡敏久	埼玉	丹崎健一	東京	内田政和	三重
	楠武徳	千葉	石川雅利	千葉	若梅明彦	千葉	斉藤広宣	千葉
	大川京子	千葉	神鳥泰次	広島	平田悦造	広島	金岡昭房	宮城
	林田正信	熊本	中本裕二	広島	京浜商業印刷	東京	鈴木正彦	群馬
	荒畑鈴佳	岐阜	高木安一郎	静岡	沼本脩	静岡	伊藤捷一	静岡
	田中敏彦	山梨	荒木稜夫	東京	佐伯善春	佐賀	北正三	埼玉
	八子健悟	新潟	古城郁夫	栃木	田村哲二	栃木	大野勝敏	東京
	鍵紀代子	宮城	江頭武典	佐賀	ナガセケンコー		田中美明	埼玉
	橋本茂樹	福岡	小野政昭	広島	渡辺武夫	東京	福林徹	千葉
	池田光雄	東京	小笠原浩二	東京	早川敏生	愛知	横野久美子	愛知
	今井史郎	東京	時任宥幸	東京	アシックス		横江忠志	高知
林三千夫	和歌山	金治義昭	兵庫	内藤尚男	神奈川	中山俊介	東京	

7. 補助金・助成金等に関する事項

(1) 助成金

(単位：円)

日本体育協会	国民体育大会役員旅費補助	678,740
スポーツ振興基金	国際大会派遣	1,000,000
	全日本選手権大会補助	1,500,000
スポーツ振興くじ	ドーピング(3回)	150,000
ヨネックススポーツ振興財団	トータルスポーツクリニック	650,000

(2) 委託金

(単位：円)

日本オリンピック委員会	選手強化事業(ナショナルチーム強化合宿)	2,097,000
-------------	----------------------	-----------

(3) 補助金

(単位：円)

日本オリンピック委員会	選手強化キャンペーン	1,023,000
-------------	------------	-----------

8. 寄付金・協賛金に関する事項

(1) 免税募金

ア、選手強化事業

(単位：千円)

300	林 敏弘
50	宮崎 正己

(2) 協賛金

(単位：円)

ミズノ(株)「全日本インドア大会協賛金」	250,000
ミズノ(株)「ナショナルチーム・ジュニアナショナルチーム協賛金」	2,000,000
ヨネックス(株)「ナショナルチーム・ジュニアナショナルチーム協賛金」	2,000,000
ヨネックス(株)「ナショナル・ジュニアナショナルストリング協賛金」	500,000
(株)ゴーセン「ナショナル・ジュニアナショナルストリング協賛金」	500,000
全国書籍出版(ミニミニ)	4,500,000

(3) 新規公認

(単位：円)

ブリヂストン(株)	シューズ	5,000,000
ダイワ精工(株)	ラケット	5,000,000
(株)タケマエ	ラケット	5,000,000
(株)ジャパーナ	ラケット	5,000,000

9. 傷害補償制度の給付金に関する事項

35件、2,214,000円を給付した。

<怪我の内訳>

傷害内容	一般	大学生	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	10					10
骨折	1					1
靭帯損傷	5	1	1			7
肉離れ	5				1	6
その他	9		1		1	11
計	30	1	2	0	2	35

# 平成17年度大会一覧表

別表1-1

月	日	大会名	種別	会場	参加数
5	3～5	第4回東アジア競技大会 日本代表予選会	男子ダブルス	宮城県総合運動公園	59 ペア
			女子ダブルス	テニスコート	44 ペア
5	14～15	全日本シングルス選手権大会	男子シングルス	徳島県大神子	150 人
			女子シングルス	テニスセンター	90 人
6	25～26	ハイスクールジャパンカップ	男子	北海道円山庭球場	60 ペア
			女子	道立総合体育センター	60 ペア
7	2～3	西日本シニア選手権大会	シニア男45	鳥取県布勢総合運動公園 テニスコート	53 ペア
			シニア女45		27 ペア
			シニア男50		60 ペア
			シニア女50		54 ペア
			シニア男55		51 ペア
			シニア女55		49 ペア
			シニア男60	42 ペア	
			シニア女60	50 ペア	
			シニア男65	鳥取大学テニスコート	25 ペア
			シニア女65	16 ペア	
			シニア男70	20 ペア	
			シニア女70	12 ペア	
			シニア男75	12 ペア	
シニア女75	6 ペア				
7	16～17	西日本選手権大会	一般男子	松江市宮庭球場	235 ペア
			一般女子		121 ペア
			成年男子	安来運動公園テニスコート	70 ペア
			成年女子		24 ペア
7	16～17	東日本選手権大会	一般男子	秋田県立中央公園 テニスコート	196 ペア
			一般女子		65 ペア
			成年男子		69 ペア
			成年女子		37 ペア
			シニア男45	大仙市大曲総合公園 テニスコート	43 ペア
			シニア女45		33 ペア
			シニア男50	35 ペア	
			シニア女50	64 ペア	
			シニア男55	酒田市国体記念コート	50 ペア
			シニア女55	74 ペア	
			シニア男60	酒田市光ヶ丘テニスコート	65 ペア
			シニア女60	56 ペア	
			シニア男65	鶴岡市小真木原テニスコート	36 ペア
			シニア女65	30 ペア	
シニア男70	29 ペア				
シニア女70	16 ペア				
7	29～31	全日本実業団選手権大会	男子団体	姫路市広畑テニスコート	140 チーム
			女子団体	吉川町総合中央活動センター 神戸しあわせ村テニスコート	

別表 1-2

月	日	大会名	種別	会場	参加数
7	28～31	全日本小学生選手権大会	男子団体	奈良県橿原公苑 明日香庭球場	48 チーム
			女子団体		48 チーム
			男子個人		192 ペア
			女子個人		192 ペア
8	5～7	全日本レディース（個人戦）	ふじ(初心者)	熊本総合公園 他	73 ペア
			すみれ(23歳以上)		38 ペア
			ばら(40歳以下)		102 ペア
			ゆり(50歳以上)		97 ペア
			きく(55歳以上)		125 ペア
			あやめ(60歳以上)		146 ペア
			はぎ(65歳以上)		76 ペア
			さつき(70歳以上)		57 ペア
			さくら(75歳以上)		28 ペア
8	2～8	全日本高校選手権大会	男子個人	千葉県白子町 サニーテニスコート	316 ペア
			女子個人		316 ペア
			男子団体		48 チーム
			女子団体		48 チーム
8	2～8	全日本学生選手権大会	男子大学対抗	能登県民テニスコート	89 校
			女子大学対抗		67 校
			大学男子	珠洲市宮鉢ヶ崎テニスコート 他	517 ペア
			大学女子		353 ペア
			男子シングルス		56 人
			女子シングルス		53 人
8	23～25	全国中学校大会	男子個人	岐阜メモリアルセンター	64 ペア
			女子個人		64 ペア
			男子団体	長良川テニスプラザ	16 チーム
			女子団体		16 チーム
8	23～25	全日本レディース決勝大会(団体戦)		千葉県総合スポーツセンター	48 チーム
9	2～3	全日本社会人選手権大会	一般男子	長崎市総合運動公園	224 ペア
			一般女子		107 ペア
			成年男子	かきどまり庭球場 長崎市宮松山庭球場	86 ペア
			成年女子		37 ペア
9	9～11	全日本シニア選手権大会	男子45	千葉県白子町 サニーテニスコート	89 ペア
			女子45		90 ペア
			男子50		104 ペア
			女子50		101 ペア
			男子55		89 ペア
			女子55		102 ペア
			男子60		92 ペア
			女子60		94 ペア
			男子65		55 ペア
			女子65		46 ペア
			男子70		39 ペア
			女子70		24 ペア
			男子75		11 ペア
			女子75		10 ペア
			混合45		50 ペア
			混合50		71 ペア
			混合55		53 ペア
			混合60		68 ペア
			混合65		25 ペア

別表 1 - 3

月	日	大会名	種別	会場	参加数
9	23～25	全日本選手権大会	男子	厚木市南毛利テニスコート	282 ペア
			女子	富士通厚木総合グラウンド 荻野運動公園体育館	254 ペア
10	1～2	JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	男子1部(13～17歳)	広島市中央庭球場	16 ペア
			男子2部(18～20歳)		16 ペア
			女子1部(13～17歳)		16 ペア
			女子2部(18～20歳)		16 ペア
			男子1部S(13～17歳)		32 人
			男子2部S(18～20歳)		32 人
			女子1部S(13～17歳)		32 人
			女子2部S(18～20歳)		32 人
10	23～26	国民体育大会	少年男子	岡山県浦安総合公園 テニスコート	777 人
			少年女子		
			成年男子		
			成年女子		
10 ・ 11	29～2	第4回東アジア競技大会	男子団体	マカオ	5 チーム
			女子団体		5 チーム
			男子ダブルス		15 ペア
			女子ダブルス		15 ペア
			男子シングルス		15 人
			女子シングルス		15 人
			ミックスダブルス		なし
11	4～6	日本実業団リーグ	男子	仙台市泉総合運動場	32 チーム
			女子	泉庭球場	7 チーム
11	5～6	全日本クラブ選手権大会	男子団体	秩父ミュージックパーク	134 チーム
			女子団体	スポーツの森庭球場	40 チーム
11	18～20	日本リーグ	男子	広島県総合体育館	8 チーム
			女子		8 チーム
2	6	全日本インドア選手権大会	男子	大阪府中央体育館	12 ペア
			女子		12 ペア
2	11～12	日本リーグ入替戦	男子	横浜国際プール	4 チーム
			女子		4 チーム
3	26～28	都道府県対抗全日本中学生大会	男子団体	伊勢市営庭球場	48 チーム
			女子団体	三重県営サンアリーナ	48 チーム
			男子個人		192 ペア
			女子個人	三重県営体育館	192 ペア
3	29～30	全日本高校選抜大会	男子団体	名古屋市総合体育館	32 チーム
			女子団体		32 チーム
3	30～31	全国小学生大会	男子5年生の部	千葉県白子町 サニーテニスコート	130 ペア
			女子5年生の部		134 ペア
			男子(4年生以下の部)		127 ペア
			女子(4年生以下の部)		125 ペア

# 平成17年度 公認審判員認定者数

別表2

H18年3月31日現在

支部名	2 級			ジュニア	マスター アンパイヤー	1 級		マスター レフェリー	合 計
	新 規	高 校	更 新			新 規	更 新		
1 北海道	366	501	303	1,453			2	3	2,628
2 青 森	148	20	70	2					240
3 岩 手	64	907	75	1,456		1	5		2,508
4 宮 城	95	205	88	32	1	2	3	11	437
5 秋 田	35	526	111	645	2	5	5		1,329
6 山 形	92	471	59	484		2	5		1,113
7 福 島	45	605	115	502		1	12		1,280
8 茨 城	266	764	61	25		4	5		1,125
9 栃 木	73	626	71	15		5	8	5	803
10 群 馬	51	533	78	232		2	7	3	906
11 埼 玉	294	1,956	353	29	1	2	9	6	2,650
12 千 葉	193	1,408	112	29		10	14	18	1,784
13 東 京	228	235	151	50	17	5	4	2	692
14 神奈川	87	490	73	3,910					4,560
15 山 梨	87	214	42	251	4			1	599
16 新 潟	306	550	70	5,079	3	5		3	6,016
17 長 野	148	848	292	16			3	3	1,310
18 富 山	22	403	90	37			23		575
18 石 川	25	194	75	907			10	1	1,212
20 福 井	115	36	30	14			1	1	197
21 静 岡	102	653	113	290	1	1	2		1,162
22 愛 知	190	32	265	16	6	4	16	4	533
23 三 重	58	81	58	29		4	2		232
24 岐 阜	68	251	112	19		6		17	473
25 滋 賀	77	672	41	16		3	4		813
26 京 都	163	423	59	42		2	15		704
27 大 阪	158	276	148	13		3	10		608
28 兵 庫	353	32				5	5		395
29 奈 良	51	350	136	12		3		3	555
30 和歌山	81	30	59	6					176
31 鳥 取	8	46	58			1	11		124
32 島 根	23	347	90	28			1	2	491
33 岡 山	71	111	42	17	2	5	8		256
34 広 島	157	884	166	10	1	2	20	1	1,241
35 山 口	58	568	107	67		2	6		808
36 徳 島	41	243	24	13			15	7	343
37 香 川	26	241	12	16					295
38 愛 媛	43	123	106	41			12		325
39 高 知	13	70	2	12		2	5	3	107
40 福 岡	228	283	75	36		1			623
41 佐 賀	41	272	5	13		2	3		336
42 長 崎	53	224	57	11		2			347
43 熊 本	90	487	77	43			3		700
44 大 分	15	45	36	16		3	7		122
45 宮 崎	34	28	67	15		2	5		151
46 鹿 児 島	128	55	79	33					295
47 沖 縄	7	25	23	52			3		110
48 日本学連	452		91						543
合 計	5,529	18,344	4,427	16,034	38	97	269	94	44,832



# 平成17年度 技術等級認定者数

別表3

H18年3月31日現在

支部名	1 級	2 級	3 級	4 級	S P	E X	S-SP	S-EX	名誉指導員	マスター	合 計
1 北海道	10	64	11		14	1	1				101
2 青 森		8									8
3 岩 手	5	8			9						22
4 宮 城	10	1			8	8					27
5 秋 田		22	71	15	4						112
6 山 形	5	5			6						16
7 福 島	8	45	10								63
8 茨 城	30	10			2						42
9 栃 木		58			2						60
10 群 馬	8	12			11						31
11 埼 玉	23	118	81	196	10	2	1	3			434
12 千 葉	5	10			6	1			1		23
13 東 京	133	24			7	5		4			173
14 神奈川	6	8			2	2					18
17 山 梨	1	91	72	119	5						288
16 新 潟	2	35									37
17 長 野	5	3	205	2,378	5						2,596
18 富 山	2				5	5					12
18 石 川	2				1	4					7
20 福 井	2	2									4
21 静 岡	11	2			12						25
22 愛 知	4	40	8	106	12	6	2	4			182
23 三 重	13	7			2						22
24 岐 阜	6	45		4	4	2					61
25 滋 賀	11	43				2					56
26 京 都	13	9	10			1	1				34
27 大 阪	5	73	40	19	1	3		2			143
28 兵 庫	12	29	2	16	3						62
29 奈 良	4	11			10	3					28
30 和歌山	1	7			2	1					11
31 鳥 取						9					9
32 島 根											0
33 岡 山	18	11			3	2		1	1		36
34 広 島	10	43	1			1	3				58
35 山 口	7	37	2					1			47
36 徳 島		1			3						4
37 香 川	2	2	9		5	3					21
38 愛 媛		32			4	2					38
39 高 知						2					2
40 福 岡	3	22			2	3					30
41 佐 賀	2	2			2	1					7
42 長 崎	33	5									38
43 熊 本	2	50	206	252	8	1					519
44 大 分	6	6				1					13
45 宮 崎		63	23	3	3	1					93
46 鹿 児 島					5						5
47 沖 縄		3						1			4
48 日本学連	30	14			92	32					168
合 計	450	1,081	751	3,108	270	104	9	15	2	0	5,790

会員登録集計表(平成17年度)

別表4

平成18年3月31日現在

支部名	一般		小学生		中学生		高校生		高専		学連		合計	
	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
1 北海道	198	2,684	29	601	297	6,563	174	3,924	2	31				13,803
2 青森	57	701	13	253	94	3,815	46	1,209	0	15				5,993
3 岩手	69	1,815	29	587	155	5,446	85	2,628	1	24				10,500
4 宮城	76	783	20	355	155	2,565	91	2,880	1	12				6,595
5 秋田	30	655	9	301	49	1,342	51	1,556						3,854
6 山形	35	675	17	511	74	3,159	48	1,624						5,969
7 福島	71	1,053	30	727	172	8,223	82	2,194						12,197
8 茨城	60	962	12	302	152	7,770	85	2,183	1	6				11,223
9 栃木	46	666	8	284	98	4,323	51	1,308						6,581
10 群馬	45	1,019	16	653	158	7,233	56	1,612	1	18				10,535
11 埼玉	248	4,371	31	1,274	328	13,231	206	4,777						23,653
12 千葉	110	2,236	17	463	242	8,868	114	3,312						14,879
13 東京	138	2,968	15	496	48	1,102	144	4,545						9,111
14 神奈川	104	1,384	7	279	295	13,156	140	3,362						18,181
15 山梨	38	413	13	386	61	1,767	37	1,028						3,594
16 新潟	68	1,103	21	605	147	5,207	70	1,719						8,634
17 長野	21	935	16	408	125	4,879	77	2,116						8,338
18 富山	23	441	14	407	55	883	31	1,075						2,806
19 石川	61	765	18	408	72	2,848	47	1,207	2	46				5,274
20 福井	39	660	5	174	41	1,617	18	742						3,193
21 静岡	121	1,569	17	635	292	12,053	96	2,072						16,329
22 愛知	139	2,802	20	727	347	17,831	150	6,419						27,779
23 三重	47	654	15	402	165	7,328	52	1,446	1	10				9,840
24 岐阜	57	1,016	27	788	263	7,990	50	1,936						11,730
25 滋賀	28	613	12	461	10	16	39	1,806						2,896
26 京都	97	956	13	228	72	1,674	58	1,560						4,418
27 大阪	97	2,130	16	351	123	661	186	3,728						6,870
28 兵庫	73	1,405	11	186	37	647	161	5,545						7,783
29 奈良	29	828	5	193	58	2,446	34	1,066						4,533
30 和歌山	61	725	29	293	116	4,056	48	1,198						6,272
31 鳥取	25	437	19	348	25	577	25	662						2,024
32 島根	50	543	9	181	60	2,069	28	1,058						3,851
33 岡山	66	636	15	265	76	1,633	80	2,664						5,198
34 広島	105	1,483	20	348	124	2,409	106	2,750						6,990
35 山口	71	1,055	10	353	97	4,301	66	1,960	3	79				7,748
36 徳島	23	483	8	118	100	2,789	31	664	1	34				4,088
37 香川	25	350	5	148	57	2,611	31	800						3,909
38 愛媛	39	659	7	195	132	5,175	70	1,477						7,506
39 高知	31	437	8	130	52	1,464	31	628	1	16				2,675
40 福岡	58	932	13	232	17	147	100	2,714	1	25				4,050
41 佐賀	24	469	11	247	76	3,660	43	874						5,250
42 長崎	44	1,146	11	279	168	6,648	107	2,517						10,590
43 熊本	69	1,166	18	348	154	5,997	64	1,637	1	28				9,176
44 大分	49	807	14	249	109	3,284	32	746						5,086
45 宮崎	53	961	15	427	47	3,668	46	1,149						6,205
46 鹿児島	111	1,432	25	390	219	5,921	107	1,632						9,375
47 沖縄	29	426	7	88	63	2,129	40	626						3,269
48 日本学連											509	7,266		7,266
49 日本連盟	1	13												13
合計	3,159	52,422	720	18,084	5,877	213,181	3,534	96,335	16	344	509	7,266	13,815	387,632
昨年度	3,232	49,616	671	19,410	7,758	369,672	3,697	94,305	6	115	512	7,153	15,876	540,271